

データサイエンス研究科 データサイエンス専攻 [修士課程]

ディプロマ・ポリシー(DP)	カリキュラム・ポリシー(CP)
<p>以下の要件を満たすとともに、所定の単位を修得し、かつ、修士論文についての審査及び試験に合格した者に、修士（データサイエンス学）の学位を授与する。</p> <ol style="list-style-type: none">1. データサイエンス、人工知能分野の先端技術と社会科学における多角的な活用を先導する能力を有すること。2. “急速な技術と社会の革新”、“グローバルかつ複雑な社会問題”、“広域あるいは地域的な環境問題”等多くの課題に対して、また、夢のある創造的・社会的価値の発信できること。3. 国際的な大学・研究機関と連携し、先端データサイエンス研究を実現し国際的なリーダーとなる能力を有すること。	<p>本課程は、学位授与の方針（ディプロマポリシー）の達成のため、データサイエンス研究の主要3基軸、「データサイエンス技術」「データサイエンス応用」「ソーシャルイノベーション」を掲げ、カリキュラムを『基盤科目』『専門科目：データサイエンス技術/データサイエンス応用/ソーシャルイノベーション（専門選択）』『専門実践科目』『研究指導』から構成する。</p> <p>データサイエンス、人工知能分野に関する先端技術について、大局的かつ、具体的な研究事例を取り上げて学び、多角的な活用を先導する能力を培います。さらに、担当教員の指導を受けながら、研究テーマの決定、研究活動計画の策定、研究テーマのモデル化、実験環境の設計・構築及びデータ収集、実験の実施、結果の評価、関連する各学会・会議を通しての研究論文発表を行い、優れた研究成果と新たな社会的価値を発信する能力を身につけ、データサイエンス領域を対象とした研究プロジェクトに参加し、共同的・協同的研究活動を実施することにより、先端データサイエンス研究を実現し国際的なリーダーとなる能力を身につける。</p>